



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ
 コード番号 2489 URL <https://www.adways.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山田 翔
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理担当 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-6771-8512
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	6,843	1.7	629	△33.7	803	13.2	690	△27.8
2022年12月期第2四半期	6,731	—	949	—	709	—	955	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 583百万円 (△78.4%) 2022年12月期第2四半期 2,704百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	18.16	18.15
2022年12月期第2四半期	23.71	23.68

(注) 当社は、2021年12月期より決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更いたしました。これにより、経過期間となる2021年12月期は第2四半期連結累計対象期間を、2021年3月期まで決算期が3月31日であった当社及び連結子会社は2021年4月1日から2021年9月30日、2021年3月期まで決算期が12月31日であった連結子会社は2021年1月1日から2021年6月30日としております。2022年12月期第2四半期連結累計対象期間は2022年1月1日から2022年6月30日までであり、比較対象期間が異なることから2022年12月期第2四半期の対前期増減率の記載は省略しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第2四半期	23,820	14,100	57.6	374.31
2022年12月期	27,782	16,322	57.4	402.87

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 13,729百万円 2022年12月期 15,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	14.10	14.10
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	7.84	7.84

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 2023年12月期は、2022年12月期末の自己株式を除いた発行済株式数である39,608,720株から1株当たり配当金を算出しております。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	4.4	1,750	4.7	1,950	29.4	1,350	△46.8	35.52

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

2. 第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、記載を省略しております。

3. 1株当たり当期純利益は、当第2四半期累計期間の期中平均株式数から自己株式を除いた発行済株式数である38,004,503株を通期平均株式数と仮定して算出しております。

4. 詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 :無
- ② ①以外の会計方針の変更 :無
- ③ 会計上の見積りの変更 :有
- ④ 修正再表示 :無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期2Q	42,004,900株	2022年12月期	42,003,700株
2023年12月期2Q	5,324,880株	2022年12月期	2,394,980株
2023年12月期2Q	38,004,503株	2022年12月期2Q	40,318,311株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

本資料の開示とあわせて、決算説明会資料を開示しております。

また、2023年8月3日(木)に機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け決算説明会を開催する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年6月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、売上高6,843,167千円、営業利益629,712千円、経常利益803,194千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は690,194千円となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第2四半期 連結累計期間 (2022年12月期)	当第2四半期 連結累計期間 (2023年12月期)	増減額 (増減率)
売上高	6,731,965	6,843,167	111,202 (1.7%)
営業利益	949,695	629,712	△319,982 (△33.7%)
経常利益	709,747	803,194	93,446 (13.2%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	955,915	690,194	△265,721 (△27.8%)

売上高は、アドプラットフォーム事業においては、金融関連及びアプリのアフィリエイト広告の需要が増加した他、先進的な広告手法を用いた全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」が堅調に推移いたしました。国内のエージェンシー事業においては、ゲーム・マンガアプリの広告出稿が減少したものの、その他のアプリの広告出稿は増加いたしました。海外のエージェンシー事業においては、台湾での売上高が減少したものの、中国では、中国政府によるゲーム業界への規制が緩和されたこと等によりゲームアプリを提供する広告主(クライアント)からの広告需要が増加いたしました。以上の結果、売上高は6,843,167千円(前年同期比1.7%増)となりました。

売上高の増加に伴い売上総利益も増加したものの、新卒採用による人件費の増加、本社移転に伴う一時的な地代家賃及び消耗品費等の増加により、営業利益は減少し629,712千円(前年同期比33.7%減)となりました。

経常利益は、持分法による投資利益及び投資事業組合運用益が増加したこと、貸倒引当金繰入額が減少したこと等により803,194千円(前年同期比13.2%増)となりました。

税金等調整前四半期純利益は、経常利益が増加したものの、投資有価証券売却益が減少したこと等により1,080,118千円(前年同期比36.5%減)となりました。

上記の結果、法人税等を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は690,194千円(前年同期比27.8%減)となりました。

[報告セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

		前第2四半期 連結累計期間 (2022年12月期)	当第2四半期 連結累計期間 (2023年12月期)	増減額 (増減率)	
外部 売上高	①アドプラットフォーム事業	1,667,535	2,067,975	400,439 (24.0%)	
	②エージェンシー事業	国内	3,024,753	2,844,996	△179,756 (△5.9%)
		海外	1,190,112	1,144,546	△45,565 (△3.8%)
		合計	4,214,866	3,989,543	△225,322 (△5.3%)
	③その他	849,563	785,648	△63,915 (△7.5%)	
セグメント利益	①アドプラットフォーム事業	768,063	832,010	63,946 (8.3%)	
	②エージェンシー事業	1,175,862	772,784	△403,078 (△34.3%)	
	③その他	57,664	61,582	3,918 (6.8%)	

(注)当社グループは、2023年1月4日付で当社のアドプラットフォーム事業に関する権利義務を新設分割により設立した株式会社ADWAYS DEEEに承継させたこと、並びに本件に付随して当社内の部門を再編したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、全社費用の各報告セグメントへの配分方法を変更しております。また、前第2四半期連結累計期間のセグメント利益については、変更後の配分方法による算定が困難であることから、変更前の配分方法によって算定しております。

①アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業は、スマートフォン向け広告サービス「AppDriver」及び「UNICORN」、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」等、当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告の販売及び運用を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、金融関連企業の広告主(クライアント)からの広告需要及びアプリのアフィリエイト広告の需要が増加いたしました。

先進的な広告手法を用いた全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」においては、売上高は堅調に推移しておりますが、今後、更に拡大できるよう、広告配信ロジックの改善と、配信面の拡大、メガプラットフォームへの対応準備等を行いました。

これらの結果、アドプラットフォーム事業の売上高は、2,067,975千円(前年同期比24.0%増)、セグメント利益は832,010千円(前年同期比8.3%増)となりました。

②エージェンシー事業

エージェンシー事業は、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援のため、アドプラットフォーム事業で提供している当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告に限らず、広告商品及び付随するサービスの代理販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、ゲーム・マンガ以外の広告主(クライアント)からの新規広告需要が増加いたしました。ゲームアプリを提供する大型の広告主(クライアント)及びマンガアプリを提供する広告主(クライアント)からの広告需要が減少しました。

海外においては、中国政府によるゲーム業界への規制が緩和されたこと等によって中国でのゲームアプリを提供する広告主(クライアント)からの広告需要が増加しましたが、台湾でのアプリ広告、ブランド広告の需要が減少しました。

これらの結果、エージェンシー事業の売上高は3,989,543千円(前年同期比5.3%減)、セグメント利益は772,784千円(前年同期比34.3%減)となりました。

③その他

その他は、士業向けのポータルサイトの運営や、インフルエンサーマーケティングの企画運営等の新規事業等により構成されています。

当第2四半期連結累計期間においては、仕業向けポータルサイトの運営において新規顧客を獲得したこと、サウナ事業において店舗数が増加したこと等により売上高が堅調に推移しましたが、前第2四半期連結累計期間において一時的に受注したコンサルティング業務の売上高が減少したこと、生活雑貨の販売事業における販売数が減少したこと等の影響により売上高は785,648千円(前年同期比7.5%減)となり、セグメント利益は61,582千円(前年同期比6.8%増)となりました。

(2)財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (2022年12月期)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年12月期)	増減額 (増減率)
資 産 合 計	27,782,176	23,820,465	△3,961,711 (△14.3%)
負 債 合 計	11,459,944	9,719,478	△1,740,465 (△15.2%)
純 資 産 合 計	16,322,231	14,100,986	△2,221,245 (△13.6%)

[資産合計]

- ・流動資産は前連結会計年度末より4,313,285千円減少し18,579,671千円となりました。主な要因は、現金及び預金が3,112,594千円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,097,462千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産は前連結会計年度末より351,574千円増加し5,240,793千円となりました。主な要因は、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が158,503千円減少し、貸倒引当金の計上が68,988千円増加したものの、有形固定資産が577,593千円増加したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より1,842,144千円減少し9,309,592千円となりました。主な要因は、買掛金が572,807千円、未払法人税等が871,502千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より101,679千円増加し409,886千円となりました。主な要因は、その他に含まれる資産除去債務が114,127千円増加したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より2,221,245千円減少し14,100,986千円となりました。主な要因は、自己株式の取得により自己株式が1,999,936千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、9,823,577千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、393,297千円の収入(前年同期は1,445,899千円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,080,118千円に対して、投資有価証券売却及び評価損益の調整336,795千円、仕入債務の減少375,411千円、法人税等の支払額1,266,045千円による支出があったものの、売上債権の減少1,302,818千円による収入があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、240,646千円の支出(前年同期は746,304千円の収入)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入393,110千円があったものの、投資有価証券の取得による支出161,497千円、有形固定資産の取得による支出529,085千円があったこと等によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,829,836千円の支出(前年同期は1,861,607千円の支出)となりました。主な要因は、自己株式の取得2,002,735千円による支出があったことによるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが主に手掛けているインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸長を続けるものと思われまます。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。

当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携を行うことで、取引の拡大と売上の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の当社グループにおきましては、主に先進的な広告手法を用いた全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」を利用した広告配信及びゲーム・マンガ以外のアプリを展開する広告主(クライアント)からの需要等が拡大しております。

これらの状況を踏まえ、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の売上高は、14,000百万円を見込んでおります。

営業利益は、売上高の増加により1,750百万円を見込んでおり、経常利益1,950百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,350百万円を見込んでおります。

(剰余金の配当予想)

当社グループは、中長期的な企業価値の向上に努め、株主に対する利益還元を行うことを経営の最重要課題の一つと認識しております。その基本方針として、財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を中心に据えながら、その業績並びに業績の見通しに応じた適切かつ安定した利益還元を実施していく予定です。

2023年12月期の普通配当におきましては、当社の2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の連結業績見通し、株主の皆様への継続的な利益還元及び今後における企業価値の向上を目的とする事業展開のための所要資金等の内部留保を勘案した結果、親会社株主に帰属する当期純利益の23%の配当性向もしくは1株当たり配当金2円90銭と同額のどちらか高い方を配当の目処として期末配当を実施する方針といたしております。本方針より、現時点の業績予想、配当性向23%及び、2022年12月期末の自己株式を除いた発行済株式数である39,608,720株から算出される1株当たり配当金7円84銭が2円90銭よりも高いため、現時点の普通配当予想は7円84銭といたします。

なお、普通配当金額は配当性向23%に基づいて算出しておりますので、業績の結果により配当金額が変動いたします。また、自己株式の消却や新株予約権の権利行使等により配当対象となる株式数が増減した場合には、発行済株式数の変動に従い1株当たり配当金額は変更されます。

当社の配当方針につきましては、2021年12月期から2023年12月期の3ヶ年の普通配当において、第1期を除く当社事業年度を基準とした配当性向(当期は第24期であるため親会社株主に帰属する当期純利益23%)より算出される1株当たりの金額、もしくは1株当たり配当金2円70銭を基準に每期10銭を増配した1株当たりの配当金のいずれか高い方を目途としております。

なお、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別の業績予想並びに第2四半期連結累計期間における連結業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,864,371	9,751,777
預け金	5,376	71,800
受取手形、売掛金及び契約資産	9,202,433	8,104,971
棚卸資産	29,143	52,974
その他	880,923	694,687
貸倒引当金	△89,291	△96,539
流動資産合計	22,892,957	18,579,671
固定資産		
有形固定資産	618,498	1,196,092
無形固定資産		
のれん	51,951	820
その他	204,456	164,227
無形固定資産合計	256,407	165,048
投資その他の資産		
投資有価証券	3,341,732	3,183,229
その他	1,324,020	1,416,851
貸倒引当金	△651,440	△720,428
投資その他の資産合計	4,014,312	3,879,652
固定資産合計	4,889,218	5,240,793
資産合計	27,782,176	23,820,465
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,870,072	7,297,265
未払法人税等	1,292,323	420,821
賞与引当金	6,650	—
その他	1,982,691	1,591,506
流動負債合計	11,151,737	9,309,592
固定負債		
退職給付に係る負債	13,377	16,519
その他	294,829	393,366
固定負債合計	308,207	409,886
負債合計	11,459,944	9,719,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,255	1,716,709
資本剰余金	6,947,045	6,676,859
利益剰余金	7,679,628	7,811,339
自己株式	△1,809,235	△3,809,171
株主資本合計	14,533,694	12,395,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	798,152	645,574
為替換算調整勘定	607,730	669,458
退職給付に係る調整累計額	17,502	18,906
その他の包括利益累計額合計	1,423,385	1,333,938
新株予約権	69,298	93,126
非支配株主持分	295,853	278,183
純資産合計	16,322,231	14,100,986
負債純資産合計	27,782,176	23,820,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,731,965	6,843,167
売上原価	1,338,915	1,204,174
売上総利益	5,393,049	5,638,992
販売費及び一般管理費	4,443,354	5,009,280
営業利益	949,695	629,712
営業外収益		
受取利息	3,318	6,904
受取配当金	2,241	2,888
持分法による投資利益	63,876	94,108
投資事業組合運用益	21,670	51,187
その他	10,936	23,957
営業外収益合計	102,043	179,045
営業外費用		
自己株式取得費用	2,299	2,799
貸倒引当金繰入額	334,258	—
その他	5,433	2,763
営業外費用合計	341,990	5,563
経常利益	709,747	803,194
特別利益		
固定資産売却益	—	12
投資有価証券売却益	1,087,425	374,728
特別利益合計	1,087,425	374,741
特別損失		
固定資産売却損	1,159	—
投資有価証券評価損	76,706	37,933
減損損失	—	47,572
在外連結子会社リストラクチャリング費用	19,558	2,867
本社移転費用	—	9,443
特別損失合計	97,423	97,816
税金等調整前四半期純利益	1,699,750	1,080,118
法人税、住民税及び事業税	670,947	414,071
法人税等調整額	27,453	18,762
法人税等合計	698,400	432,834
四半期純利益	1,001,349	647,284
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	45,434	△42,909
親会社株主に帰属する四半期純利益	955,915	690,194

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,001,349	647,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,409,871	△151,710
為替換算調整勘定	252,443	110,274
退職給付に係る調整額	937	△323
持分法適用会社に対する持分相当額	39,733	△22,447
その他の包括利益合計	1,702,986	△64,207
四半期包括利益	2,704,336	583,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,635,692	600,747
非支配株主に係る四半期包括利益	68,643	△17,670

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,699,750	1,080,118
減価償却費	103,794	113,635
のれん償却額	9,418	7,225
貸倒引当金の増減額(△は減少)	338,368	21,621
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△39,000	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△175,219	△6,650
株式報酬費用	—	24,069
受取利息及び受取配当金	△5,560	△9,792
支払利息	24	18
減損損失	—	47,572
在外連結子会社リストラクチャリング費用	19,558	2,867
投資事業組合運用損益(△は益)	△21,670	△51,187
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△1,010,719	△336,795
持分法による投資損益(△は益)	△63,876	△94,108
売上債権の増減額(△は増加)	731,857	1,302,818
前渡金の増減額(△は増加)	△250,994	95,411
仕入債務の増減額(△は減少)	68,627	△375,411
未収入金の増減額(△は増加)	44,587	121,372
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1,386	31,339
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	126,650	△100,655
未払消費税等の増減額(△は減少)	140,295	△215,242
前払費用の増減額(△は増加)	640	△27,615
前受金の増減額(△は減少)	△115,800	△17,250
預り金の増減額(△は減少)	8,188	15,430
その他	31,078	△28,158
小計	1,638,612	1,600,635
利息及び配当金の受取額	4,415	58,496
利息の支払額	△24	△18
補助金の受取額	340	229
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△197,443	△1,266,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,445,899	393,297
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△171,554	△529,085
無形固定資産の取得による支出	—	△775
無形固定資産の売却による収入	—	4,000
投資有価証券の取得による支出	△296,489	△161,497
投資有価証券の売却による収入	1,141,011	393,110
貸付けによる支出	△800	△6,300
貸付金の回収による収入	3,860	33,783
差入保証金の差入による支出	—	△29,188
投資事業組合からの分配による収入	60,690	112,773
その他	9,585	△57,467
投資活動によるキャッシュ・フロー	746,304	△240,646
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1,309	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	667
自己株式の取得による支出	△1,644,209	△2,002,735
配当金の支払額	△216,089	△555,818
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△270,640
その他	—	△1,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,861,607	△2,829,836
現金及び現金同等物に係る換算差額	△612,148	△368,986
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△281,551	△3,046,170
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	56,324	—
現金及び現金同等物の期首残高	12,759,214	12,869,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,533,987	9,823,577

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年2月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,929,900株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,999,936千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が3,809,171千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

資産除去債務の見積りの変更

第1四半期連結会計期間において、本社オフィスの不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、本社オフィス移転のための退去に伴う原状回復費用の新たな情報に基づき、見積りの変更を行いました。この見積りの変更による減少額35,373千円を変更前の資産除去債務残高から減額しております。

なお、当該見積りの変更により、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ34,500千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	アドブラット フォーム事業	エージェンシ ー事業	計				
売上高							
国内	1,667,535	3,024,753	4,692,289	849,563	5,541,852	—	5,541,852
海外	—	1,190,112	1,190,112	—	1,190,112	—	1,190,112
顧客との契約から生じる収益	1,667,535	4,214,866	5,882,401	849,563	6,731,965	—	6,731,965
外部顧客に対する売上高	1,667,535	4,214,866	5,882,401	849,563	6,731,965	—	6,731,965
セグメント間の内部売上高又は振替高	466,877	5,509	472,387	86,834	559,222	△559,222	—
計	2,134,413	4,220,375	6,354,789	936,398	7,291,187	△559,222	6,731,965
セグメント利益	768,063	1,175,862	1,943,926	57,664	2,001,590	△1,051,895	949,695

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,051,895千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	アドプラットフォーム事業	エージェンシー事業	計				
売上高							
国内	2,013,590	2,844,996	4,858,587	785,648	5,644,235	—	5,644,235
海外	54,384	1,144,546	1,198,931	—	1,198,931	—	1,198,931
顧客との契約から生じる収益	2,067,975	3,989,543	6,057,519	785,648	6,843,167	—	6,843,167
外部顧客に対する売上高	2,067,975	3,989,543	6,057,519	785,648	6,843,167	—	6,843,167
セグメント間の内部売上高又は振替高	350,087	155,615	505,702	79,199	584,901	△584,901	—
計	2,418,062	4,145,158	6,563,221	864,847	7,428,069	△584,901	6,843,167
セグメント利益	832,010	772,784	1,604,794	61,582	1,666,377	△1,036,664	629,712

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,036,664千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

エージェンシー事業において、のれんの減損損失47,572千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「固定資産に係る重要な減損損失」に記載の通り、エージェンシー事業においてのれんの減損損失を行ったことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、2023年1月4日付で当社のアドプラットフォーム事業に関する権利義務を新設分割により設立した株式会社ADWAYS DEEEに承継させたこと、並びに本件に付随して当社内の部門を再編したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、全社費用の各報告セグメントへの配分方法を変更しております。また、前第2四半期連結累計期間のセグメント利益については、変更後の配分方法による算定が困難であることから、変更前の配分方法によって算定しております。

(重要な後発事象)

(簡易株式交換による連結子会社2社の完全子会社化)

当社は、2023年5月31日開催の取締役会決議に基づき、当社を株式交換完全親会社、当社の連結子会社であるUNICORN株式会社及び株式会社インフルエンサーインベストメントホールディングスの2社を、それぞれ株式交換完全子会社とする株式交換を2023年7月3日付で実施いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及び事業の内容

	株式交換完全子会社	株式交換完全子会社
結合当事企業の名称	UNICORN株式会社	株式会社インフルエンサーインベストメントホールディングス
事業の内容	インターネット広告関連事業	Vtuber関連事業

② 企業結合日

2023年7月3日(効力発生日)

③企業結合の法的形式

当社を株式交換完全親会社とし、UNICORN株式会社及び株式会社インフルエンサーインベストメントホールディングスを株式交換完全子会社とする株式交換

④本株式交換の目的

当社グループが2023年5月2日に公表した「中期経営計画(2023年12月期～2025年12月期)」において掲げている「2025年12月期に営業利益30億円達成」という目標の達成のため、事業の多角化を実現するためにグループ経営の機動性を高め、効率化を進めることを目的としております。

(2)実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等として処理する予定です。

(3)子会社株式の追加取得に関する事項

①取得原価及び対価の種類ごとの内訳

UNICORN株式会社

取得の対価	当社普通株式(自己株式)	1,383,788千円
取得原価		1,383,788千円

株式会社インフルエンサーインベストメントホールディングス

取得の対価	当社普通株式(自己株式)	241,689千円
取得原価		241,689千円

②株式の種類別の交換比率及び交付した株式数

UNICORN株式会社

	当社 (株式交換完全親会社)	UNICORN (株式交換完全子会社)
株式交換比率	1	14,000
株式交換により交付した株式数	当社普通株式(自己株式) : 2,044,000株	

株式会社インフルエンサーインベストメントホールディングス

	当社 (株式交換完全親会社)	株式会社インフルエンサーインベストメントホールディングス (株式交換完全子会社)
株式交換比率	1	3,500
株式交換により交付した株式数	当社普通株式(自己株式) : 357,000株	

③株式交換比率の算定方法

当社は、独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼し、受領した株式交換比率に関する算定書を踏まえて、当社及び対象子会社2社の財務状況、資産状況、将来の見通し等を総合的に勘案した上で、慎重に協議、検討を重ねてまいりました。その結果、本株式交換比率はそれぞれの株主の利益を損ねるものではなく妥当であると判断いたしました。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。